



中国 M2M 市场通信

Volume 4 No.9

2015年9月



キャセイ・トライテック株式会社

CATHAY TRI-TECH, INC.

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-5 新横浜ユニオンビルANNEX 7F
TEL: 045-476-5170(代) FAX: 045-476-5171
URL: www.cathay.jp



中国 M2M 市場通信 '15.09 月

【目次】

産業研究

- [EU は中国と連携し、5G 研究へ](#)

業界利用

- [MediaTek、アマゾン・アップル等とグローバルに連携](#)
- [サムソン、Tizen プラットフォームを物聯網へも展開](#)

モバイルモノのインターネット

(今号では記事はありません)

スマート都市

- [DigitalChina、香港大学とスマートシティで提携](#)

業界動向

- [中国情報通信研究院、物聯網アプリのテストシステムを公開](#)

新製品

- [中国重慶郵電大学、工業物聯網用チップセットを発表](#)

展示会速報

- [2016 中国\(上海\)国際物聯網及びスマートシティ博覧会](#)
-

産業研究

■ EU は中国と連携し、5G 研究へ

9月28日、EUは次世代無線ネットワーク技術である5Gについて、中国とパートナー協定を締結したと発表した。双方は5Gの研究開発分野で連携すると共に、物聯網での5G活用に関しても共同研究することのこと。

既にEUは、韓国、日本とパートナー協定を締結しており、共同作業を開始している。

5Gがグローバル世界の経済バックボーンになるとの見通しから、EUは積極的にグローバルでのパートナーを探している。2020年まで5Gを実現するという目標に向け、EUはアジアで最重要な中国と共同チームを構築できたとも言える。

次世代コミュニケーションネットワークではあらゆる人やものが接続されるため、そこに5Gを活用することが可能だと考えている。2020年には、携帯のトラフィック量は今の30倍以上になると予想している。



業界利用

■ MediaTek、アマゾン・アップル等とグローバルに連携

9月30日、MediaTekは北京で、一連のパートナーシップに基づく計画を発表した。

- アマゾン、新製品 FireTV に MT8173 を採用。(MT8173 は、ARM Cortex-A72 を搭載する世界初の 64 ビット/クアドコアの MediaTek 製 SOC)
- 物聯網展開を強化するため、電源管理ソリューションベンダー“立錡”を買収する。
- MediaTek のアイデアラボパートナー Tinitell は、100 万ドルを投資して欧州で子供用スマートプレスレットを展開する。
- 物聯網 APP、クラウドサービス及びモバイルサービスを提供する People Power 社に投資する。
- Apple の Homekit 向け SDK を発表。

■ サムソン、Tizen プラットフォームを物聯網へも展開

サムソンは9月17日、深センで Tizen 開発者大会(TDC 2015)を開催した。その会議には Baidu、Tencent、Unity を含む、1,000 人以上の開発者が参加した。

Tizen は、モバイル機器や Wearable デバイス、更にテレビなどの家電分野はもちろん、車

載分野などにも応用が可能となっている。加えて、強力なセキュリティ機能を持ち、抜群の省エネ特性も持っており、物聯網に最適だと強調した。

Tencent と Baidu も、携帯から Waearable デバイスに至るまで、Tizen プラットフォームメンバーと深く連携しており、物聯網産業での成功に向け、加速できるように取り組んでいる。

Tizen は HTML5 ベースの OS であり、開発者は Web アプリを簡単に Tizen アプリに移植できる。Tizen もオープンリソースを提供している。また、本大会において Tizen3.0 システムが発表され、64 ビット CPU に対応できるようになった。



スマート都市

■ DigitalChina、香港大学とスマートシティで提携

9月10日、DigitalChina社は香港大学と、スマートシティ(香港)研究院の共同設立について、提携枠組みで合意したと発表した。

双方は、スマートシティの未来構想を企画し、その中における市民サービスや政府施策あり方や、ビッグデータ処理、クラウドコンピューティングなど様々なバックボーンを支える基幹技術、それを活用したスマート医療、スマート交通、物聯網情報技術などの分野で重点的に共同研究を行う。

DigitalChinaは、スマートシティサービスが中国の70都市で展開されているなか、40都市と戦略協定書を締結している。研究開発を強化するため、いくつかの教育機構と連携している。2012年には、北京航空航天大学などと中国スマートシティ技術革新戦略連盟を共同設立したのをはじめ、2014年には北京工業大学と北京スマートシティ研究院、今年5月には上海交通大学とスマートシティ連合ラボを共同設立した。今年6月にも、上海交通大学、イギリス Salford 大学、イギリス Manchester 大学、EU 電子フォーラムと中国-欧州間の初のス

マートシティ連合ラボを共同設立した。

業界動向

■ 中国情報通信研究院、物聯網アプリのテストシステムを公開

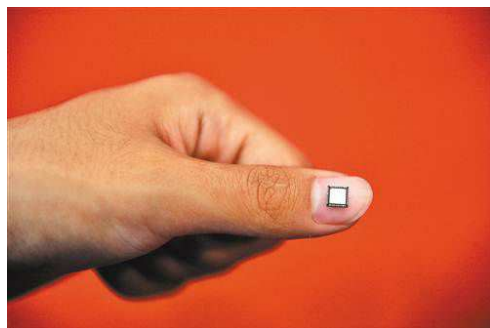
2015 年の中国国際情報通信展覧会において、中国情報通信研究院は物聯網のアプリケーションシステムを効率よく試験するシステムを展示した。そのシステムは既に車聯網 (Internet of Vehicles) 分野で活用できており、アプリのテストと信頼性のテストを自動化するものとなる。

その機能は、車聯網のセンサーレーヤからアプリレーヤまで、自動テストを実行するためのソリューションを、以下の 3 機能で提供する。1 つは、End - End でのテストであり、特定の自動車の機能デバイスやシステムのファンクションや性能及び信頼性テストを、全面的に自動化するソリューションとサービスを提供する。2 つ目は、テスト項目及びテストスクリプトの作成において、テストおける操作し易さと再現性を高め、テストデータの確実性と信頼性を確保する。3 点目は、自動化したテストにより、素早く確実にシステムデバッグを進め、バグ修復を可能にする。

車聯網のベンダーにとって、そのシステムの活用を通して、人員コストを削減でき、一定の期間で複数のサンプルのテストができるようになり、製品のテスト効率を高め、製品の研究開発期間を短縮できる。

新製品

■ 中国重慶郵電大学、工業物聯網用チップセットを発表



サイズが 6mm 四方で、長距離伝送能力があり物質透過性も強い、世界初の 433/470MHz 工業物聯網用チップセット、CY4520 が重慶郵電大学より発表され、既に少量を生産中と発表した。

CY4520 の最大出力は 13dbm で、伝送距離は 500 メートル以上であるとのこと。また、コストは 20 数元であり、スマート工場、スマート交通、スマートグリッドなど、広幅な分野で今後活用できるという。

重慶郵電大学が 2012 年に発表した、工業物聯網チップ CY2420 及び今年 3 月に発表した工業物聯網 SIP チップ CY2420S もすでに量産中とのこと。



展示会速報

■ 2016 中国(上海)国際物聯網及びスマートシティ博覧会

会期: 2016年6月14日~6月16日

会場: 上海新国際博覧中心

主催: 中国通信工業協会物聯網応用分会、中国スマートシティ企画建設推進連盟、中国 AI 学会

スポンサー: 中国工業和信息化部、中国スマートシティ産業連盟、中国デジタルファミリーサービス連盟、中国物聯網産業連盟、国際物聯網貿易と応用促進会、上海市スマートシティ促進センター

出展内容:

- 1) スマート通信ネットワーク: 物聯網、クラウドコンピューティング、RFID、端末、通信技術、RS など
- 2) スマート交通: 車聯網、情報収集技術、交通情報プラットフォーム、データ管理と分析、都市交通管理など
- 3) スマートファミリー: スマートファミリー端末、スマートゲートウェイ、防犯設備など
- 4) スマート教育: 電子ホワイトボード、クラウド図書館、教育情報化公共サービスプラットフォーム、管理システムなど
- 5) スマート医療: 情報化管理システム、病院情報管理システム、リモート医療診断システム、薬品識別と追跡システム、手術補佐ロボット、新型医療器具など
- 6) スマート物流、スマート農業、スマート環境保護、スマート民生などの分野

- ご愛読ありがとうございました -